

建設委員会TOPIX

～好機も課題も盛りだくさん!～

2年ぶりに復帰した建設委員会の事業内容がてんこ盛りです。例えば、開催が迫ったラグビーW杯の会場となるエコパスタジアムの照明設備改修工事が決まったり、東京五輪会場となる伊豆市のアクセス道路の整備などの明るい材料をはじめ、建設産業全体の課題である担い手確保対策、県内東部・中部・西部にかかる地域性のある事業があったりなど、数えれば切りがないほど。

もちろん予算には限りがありますが、建設委員会の所管事項は、私たちの暮らしに直結した大切な事業ばかりです。この1年間、議論を尽くしつつも素早い事業展開が行われるよう、委員会運営をしっかりと進めていきたいと思います。

全体に関わる重点事業

- 建設産業の担い手確保・生産性向上支援
- 豪雨災害等緊急対策
- 社会資本長寿命化の推進
- 公共交通への自動運転の導入



県西部に関わる重点事業

- 三遠南信自動車道の整備
- 浜松市沿岸域の防潮堤整備
- 遠州灘海浜公園(篠原地区)の野球場構想



県中部に関わる重点事業

- 中部横断自動車道の整備
- 三保松原の景観改善
- クルーズ船誘致による交流人口の拡大



県東部に関わる重点事業

- 伊豆縦貫自動車道の整備
- 沼津駅周辺総合整備
- 伊豆地域における公共交通網の再編



真の目 ～立ち向かえ!EVシフトの大波に～



100年に一度の転換期と言われる大波がやってきました。ご存知のように、世界的に進むEV(電気自動車)化や自動運転などの急速な技術革新のことです。本県では、こうした動きに立ち向かうために、産学官連携による研究会を新たに設置したり、都田にある工業技術研究所に試験検査機器を整備したり、さらには自動運転の実証実験を計画したりと、様々な施策を進めています。

また、県議会としても超党派の「宇宙航空・先端産業振興推進議員連盟」を設立し、私が幹事長に就任しました!EV化による経済への影響が全国で2番目に大きいと言われる本県であるからこそ、行政も議会も民間も、一致団結してこの大波を乗り越えていきたいですね。

しずおか自動運転 Show CASE プロジェクト ECOPAドリームプロジェクト 発足式



緊急総点検!



県内のブロック塀等を



我が会派「ふじのくに県民クラブ」が提出した要望書に答える形で、静岡県では、大阪府北部を震源とする地震の教訓を受け、県内に存在するブロック塀等の緊急総点検を実施しました。対象施設は、小・中学校、高校・特別支援学校、社会福祉施設、警察が所管する施設などの県有施設はもちろんのこと、市町が所有する施設や民有施設についても調査を依頼。

その結果、県内公立の学校施設1,156校のうち、対策が必要な塀等のある学校数が132校(浜松市は202校中4校)、またその他の県有施設でも46施設が対策の必要ありという報告(6月末時点)がなされ、今後、立ち入り禁止などの安全対策を施すとともに、速やかに詳細調査を実施し、必要であれば撤去または改修を行っていくことになります。

痛ましい事故を繰り返さないためにも、防災先進県として今一度、命を守る施策の徹底を図っていく必要があります。

今後の県としての対応の仕方

県有施設

県費を投入して必要な対策を講じる。



小・中学校、病院、県庁など

市町有施設

緊急地震・津波対策等交付金で詳細点検等にかかる費用を支援。



図書館、市役所、公園など

民有施設

「TOUKAI-0」事業で撤去・改善にかかる費用を支援。



住宅、企業、工場など

会派マニフェスト

「覚悟」から「Shinka」へ



ふじのくに県民クラブでは、4年前に策定した会派マニフェスト「覚悟」に基づいて、政策提言や様々な活動を行ってまいりました。そしてこの度、「覚悟」の検証結果をご報告するとともに、来期のマニフェスト「Shinka」を現在策定作業中!

この「Shinka」には、「進化・深化・真価」という3つの想いが込められていますが、政策実現サイクルをしっかりと回し、県民の皆様役に役立つ会派になれるよう、引き続き一丸となって歩んでまいります。

